

今年は、終戦80年

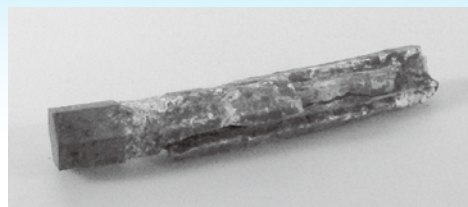
郷土資料館・旧吉田茂邸で戦争と復興について振り返ってみませんか

問郷土資料館 ☎(61) 4700

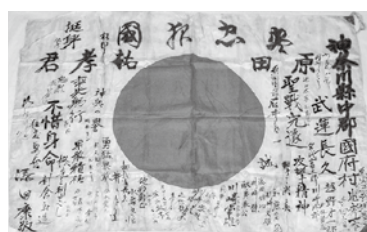
2025年は、1945年8月15日の終戦からちょうど80年にあたる節目の年です。
郷土資料館および旧吉田茂邸では、終戦80年に関連した企画展を開催します。

大磯の空襲被害

「7月16日」は、何の日かご存知でしょうか。もしかしたらあまり知られていないかもしれませんが、平塚空襲が起きた日です。大磯でも、この空襲の被害を受けました。山王町や大磯駅付近、寺坂などに焼夷弾が投下され、8人の方が亡くなっています。また、7月30日には、大磯駅が攻撃を受け、3人の駅職員が命を落としました。



▲焼夷弾



▲寄書の国旗

旧大磯町・国府村の出征

旧大磯町では、日中戦争と太平洋戦争で約1,500人が出征し、旧国府村とあわせて382人が戦死しました。当時、両町村の人口は約15,000人で、召集は大きな影響を及ぼしました。

和平工作に奔走した吉田茂

戦後の内閣総理大臣として広く知られる吉田茂ですが、戦前は外交官をしており、中国、ヨーロッパに赴任して当時の複雑な国際状況をつぶさに経験しました。1939年には外務省を退職しますが、その後も戦争の早期終結を目指し和平工作に奔走しました。一方でこうした行動は軍部の目に留まり、「ヨハンセン（吉田・反戦）」の暗号名をつけられて警戒されました。



▲駐英大使時代の吉田茂



▲講和条約を記念して建てられた「兜門」

日本の復興と独立を目指して

終戦後、吉田は外務大臣および総理大臣としてGHQとの折衝を担いました。そして日本国憲法をはじめ、戦後日本の基礎となる重要な法律を制定させていきました。日本の復興と同時に独立を目指した吉田は、1951年、サンフランシスコ講和条約の締結に漕ぎつけました。講和条約への調印に臨むにあたり、吉田は好物の酒と葉巻を断っていたというエピソードもあります。

終戦80年企画展

「資料と証言にみる大磯と戦争」

- ▶と き 8月2日（土）～10月5日（日）
- ▶と ころ 郷土資料館 企画展示室
- ▶観 覧 料 無料
- ▶開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）

旧吉田茂邸企画展「吉田茂と振り返る終戦80年」

旧吉田茂邸ミニパネル展示「吉田茂とマッカーサー」

- ▶と き 2026年3月31日（火）まで
- ▶と ころ 旧吉田茂邸内
- ▶観 覧 料 大人510円 中高生210円 小学生以下無料
- ▶開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）

※休館日については、郷土資料館ホームページをご覧ください。郷土資料館にお問い合わせください。